

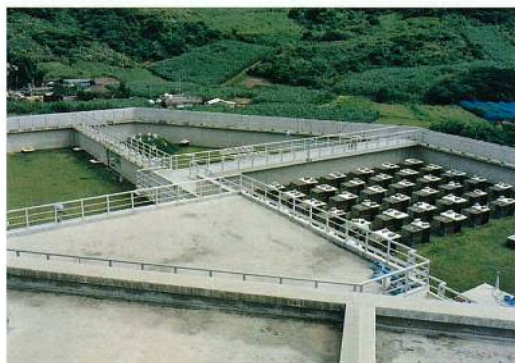


名称：沖縄県公害衛生研究所ハブ支所  
所在地：大里村  
工期：昭和62年7月14日～昭和62年9月1日  
構造：鉄筋コンクリート造  
延面積：1,173㎡  
設計：阿松日建設計事務所、俣野一級建築設計事務所JV  
総工事費：288.10千円  
施工：建築：俣野東建設  
電気：俣野大城組  
空調：沖縄日立商品株  
その他：外構＝御金城土木

本施設は、蛇類及び毒蛇を専門に研究する一方、県民に対して毒蛇被害対策の知識を普及させるための他府県に例の無い公的なハブの研究施設である。

従来の浦添市経原の施設が老朽化し、また業務の多様化に伴い手狭となったため、大里村の公害衛生研究所一帯のエリアに新築移転となった。

本施設の業務は、1.ハブの生化学的研究、2.飼



育生態研究、3.自然飼育動態研究の3つに大別される。従ってそれらの研究部門をそれぞれ独立させ研究棟を軸として、西側に飼育棟、南側に野外実験場を配し、東側は将来造成計画が予定されている。

名称：南大東保健指導所  
所在地：南大東村  
工期：昭和62年11月2日～昭和63年3月20日  
構造：鉄筋コンクリート造  
延面積：120㎡  
設計：俣野市建築設計事務所  
総工事費：36,146千円  
施工：建築：当山組  
電気：長光電気工社  
空調：//  
衛生：//

当施設は1階に保健指導所、2階に保健婦住宅を配している。地域に密着した施設であるため明確な平面計画にしてある。又特に台風の常襲地として知られている当地の古風村築として外部に面するすべての窓に木製格子及び雨戸を設置した。



## 農林水産部

名称：農業試験場本場流通技術実験棟  
所在地：那覇市首里崎山4-222  
工期：昭和62年10月31日～昭和63年2月27日  
構造：鉄筋コンクリート造  
延面積：159㎡  
設計：ふくたけ設計事務所  
総工事費：70,000千円  
施工：建築：株マンダイ建設  
電気：栄電気水道工社  
空調：株国場組  
衛生：//

当施設は、農産物の遠距離海上輸送中における生理的、物理的及び病理的な種々の障害による鮮度低下（商品価値の低下）の要因を究明するための、温・湿度の制御及びガス代謝等による鮮度保持及び貯蔵技術の実験施設である。



名称：農業試験場本場土壌微生物生態実験ガラス室  
所在地：那覇市首里崎山4-222  
工期：昭和62年10月1日～昭和63年1月28日  
構造：鉄筋コンクリート造、鉄骨造  
延面積：300㎡  
設計：ふくたけ設計事務所  
総工事費：27,249千円  
施工：建築：大満土建  
電気：俣野電気設備  
空調：日章電気工事株  
衛生：//

当施設は、一定条件下における土壌害虫の生態及び防除法の確立、また、土壌微生物の有効利用技術を確立するための研究施設である。



名称：農業試験場宮古支場さとうきび生態実験室  
所在地：平良市宇西里2071-40  
工期：昭和62年10月1日～昭和63年1月28日  
構造：鉄筋コンクリート造、鉄骨造  
延面積：240.4㎡  
設計：御城設計企画室  
総工事費：36,281千円  
施工：建築：俣野建設工業  
電気：日光電気  
機械：垣花水道工社

当施設は、地域の気象・土壌等の環境条件とさとうきびの生育特性を把握し、単収増及び品質向上対策技術を確立するための生態実験室であり、実験室とガラス室で構成している。



名称：農業試験場八重山支場野菜病害虫診断実験ガラス室

所在地／石垣市宇平得1178-6  
 工期／昭和62年9月29日～昭和63年1月26日  
 構造／鉄骨造  
 延面積／193㎡  
 設計／平良設計  
 総工事費／19,181千円  
 施工／建築：友利建設  
 電気：平田電水社  
 空調： 〃  
 衛生： 〃



当施設は、八重山地域における水生野菜病害虫の発生生態解明と防除技術及び野菜病害虫の診断技術を確立するため、試験精度確保を目的とする実験ガラス室である。



名称：病害虫防除所

所在地／那覇市首里跡山町4-222  
 工期／昭和63年3月22日～昭和63年3月25日  
 構造／鉄筋コンクリート造  
 設計／南かなえ設計  
 総工事費／26,800千円  
 施工／建築：幸雄組  
 電気：新屋電気工業  
 機械：隼信成工業

当施設は農業試験場本場の敷地内にあり、本館・図書館・ガラス温室や実験農場等に囲まれている。病害虫防除所の役割は、作物の病害虫による被害状況の広報や、病害虫や農薬の調査研究である。組織の統廃合により県内にいくつかある防除所の本所にあたる施設の整備をして研究室の設備も一式新設した。

名称：農業大学校小教室

所在地／名護市名護4124-2  
 工期／昭和62年10月1日～昭和62年12月29日  
 構造／鉄筋コンクリート造  
 延面積／283㎡(増築140)  
 設計／古堅建築設計事務所  
 総工事費／25,093千円  
 施工／建築：尚林建設  
 電気：鉢嶺電水工社  
 空調： 〃  
 衛生： 〃



当施設は、農業の近代化に対応した電算実習室と新たに設けられた科目に対応する教室として計画された。

名称：林業試験場ほだ場及びしいたけ発生舎

所在地／名護市  
 工期／昭和62年1月2日～昭和62年12月31日  
 構造／鉄骨造  
 延面積／100㎡(発生舎)、150㎡(ほだ場)  
 設計／谷小浜一級建築設計事務所  
 総工事費／7,000千円  
 施工／建築：我喜屋建設  
 電気： 〃  
 空調： 〃  
 衛生： 〃



▲ ほだ場



▲ しいたけ発生舎

当施設は、県内の山林に多くみられるイタジイをほだ木にした、しいたけの栽培実験施設である。しいたけはとてもデリケートな生物で、生育条件により、収穫量に差が出る。このため立地条件について多くの類似施設を参考にして計画した。また、温度調整機能を最大限にするため、二重屋根、風抜き、散水、天井高等に工夫を凝らした。

名称：沖縄県畜産試験場和牛産肉能力間接検定牛舎及び放牧牛管理舎

所在地／今帰仁村  
 工期／昭和62年10月1日～昭和63年1月28日  
 構造／鉄筋コンクリート造  
 延面積／262㎡  
 設計／尚仲村一級建築設計事務所  
 総工事費／40,890千円  
 施工／建築：嘉陽組  
 電気：北部電設舎  
 空調： 〃  
 衛生： 〃



当施設は、放牧牛の管理牛舎と、県内の人工受精用の種牛(雄)を選定するための検定牛舎である。設計にあたっては、放牧牛の管理及びパドック(運動場)との係りに留意した。



名称：栽培漁業センター  
 所在地／本部町字大浜653-1  
 工期／昭和62年10月1日～昭和63年1月28日  
 構造／鉄筋コンクリート造  
 延面積／8.72㎡  
 設計／知念建築設計事務所  
 総工事費／29,514千円  
 施工／建築：南松川組  
 設備：岡仲宗根電設



本施設は、種苗生産において稚魚の病気等をふせぐために、海水中の不純物の除去及び消毒するためのものである。ろ過機の架台を機械室として利用している。

名称：水産試験場八重山支場飼育実験棟  
 所在地／石垣市字川平828-2  
 工期／昭和62年10月1日～昭和63年1月28日  
 構造／鉄筋コンクリート造  
 延面積／200㎡  
 設計／野原建築設計事務所  
 総工事費／36,400千円  
 施工／建築：王吉建設  
 電気：南宮城電気  
 衛生：新琉電気



当施設は、養殖技術の確立のための施設であり、稚魚の育成を行なう作業室、環境の実験を行なう恒温室及び実験室で構成されている。



## 土木建築部



名称：総合運動公園休憩舎  
 所在地／沖縄市比屋根672  
 工期／昭和62年2月27日～昭和62年8月25日  
 構造／鉄筋コンクリート造・平家建  
 延面積／1,256㎡  
 設計／(基本)株あい造園設計事務所  
 (実施・監理)松田睦設計事務所  
 総工事費／207,900千円  
 施工／建築：金正建設㈱  
 電気：知念電気工事㈱  
 機械：西有里設備

当休憩舎は、沖縄県総合運動公園地内海城ゾーンの中でアプローチ性が最も高い丘の背後に位置し、海城の自然活動と協調するような施設である。

週末の利用者、小学校等の遠足、家族、友人同士が気軽に立ち寄ることのできる場所として将来子供手芸、玩具工作、焼き物等の創作活動のできるような施設の整備を行ないまた学校単位の研修の場となり、工芸絵画教室等の各種の指導を行い年間を通じた研修の機会を提供できるような施設をめざしている。

名称：総合運動公園屋外便所①、②、③  
 所在地／沖縄市比屋根672  
 工期／昭和62年12月16日～昭和63年3月28日  
 構造／鉄筋コンクリート造・平家建  
 延面積／1,183㎡、2,281㎡、3,381㎡  
 設計／(基本)あい造園設計事務所  
 (実施・監理)松田睦設計事務所  
 総工事費／66,300千円  
 施工／建築：南宇保建設①・南崎建設②・南東建設③  
 電気：徳石電工業  
 機械：徳具志川設備工業





名称：名護中央公園(便益・休養施設)  
 所在地：名護市名護  
 工期：昭和62年10月31日～昭和63年3月31日  
 構造：S造・平家建  
 延面積：1.便所 2.便所 3.便所 4.便所 5.東屋 6.東屋 7.東屋  
 43㎡ 35㎡ 35㎡ 25㎡ 48㎡ 31㎡ 31㎡  
 総工事費：52,730千円  
 施工：1.便所 2.便所 3.便所 4.便所 5.東屋 6.東屋 7.東屋  
 松秀組 岸本土建 岸本土建 丸勇建設 松秀建設 岸本土建 丸勇建設

名護市の名護岳の一角を占める位置にあり、行楽客でにぎわう名護城址と共に桜の名所として風光明媚な公園である。  
 公園内には“青年の家”があり、県内青少年の教育研修憩いの場として広く利用されている。  
 当公園は整備すべき部分が多く残っており、将来は桜の園、彫刻広場等をつくり、桜の名所を始めさらに充実した自然公園をめざし、より多くの県民の利用に供する予定である。

### 便所



1 2  
3 4



### 東屋



5  
6 7



### 3. 住宅関係(住宅課)



名称：県営赤嶺市街地住宅  
 所在地：那覇市赤嶺 75番地  
 工期：昭和61年12月16日～昭和63年3月25日  
 構造：壁式鉄筋コンクリート造(3～8階建)  
 延面積：19,850㎡  
 設計：廣宮平建築設計事務所・関松田設計事務所JV  
 総工事費：2,917,689千円  
 施工：建築：橋小波津組 他16社  
 電気：山川電気工事社 他8社  
 機械：比嘉工業株・街へモ設備工業JV 他6社  
 (エレベータ)沖繩ナショナル特機開 他1社  
 その他：橋呉屋組 他5社



県営赤嶺市街地住宅は、那覇市南西部の那覇空港の近く、小緑金城地区区画整理地域の一角にあり緩やかな丘陵地域である。この計画は、雨端から庭へ、庭から影空間へ、影空間から共同作業や森遊びへ…村起こしへ…と沖縄の昔からのコミュニケーションの場であったアマハジ、カタカを置き、活気ある「村の集合」を試みて5つの場を設定した。テーマを「緑とコミュニケーションのあるまち」として構想し、地域特有の樹木を使うことにより屋根の赤瓦と調和させることを計画した。住戸は3つのタイプがある。特に中層棟については、84標準設計に始まった専用ポーチを活用し、アマハジ空間を住戸計画の中に反映させることにより地域に根ざしたコミュニティーへの足掛りを実現している。







**名称：県営比屋根団地**

所在地／沖縄市字比屋根929番地の1  
 工期／昭和60年12月28日～昭和62年12月25日  
 構造／(高層)鉄骨鉄筋コンクリート造  
 (中層)壁式鉄筋コンクリート造

延面積／14,761㎡

設計／(鋼)門設計研究所

(株)近代設計・(株)泉建築設計事務所JV

総工事費／2,232,27千円

施工／建築：南友善組・(株)宇慶組JV 他7社  
 電気：南琉宋通信・(株)東部電気JV 他7社  
 機械：(株)大成組・(株)正光設備JV 他6社  
 その他：(株)丸政土建 他8社



基本設計では、従来の画一的になりがちな計画から形に変化をつけその団地を特徴づけるような表現が必要であると考え、検討をした。まず、コミュニケーションの場を意図的に設けるため中耐の廊下型を計画し、高層棟の廊下やエレベーターホールにその性格を持たせる工夫をすること。それから、地域性の表現の上から、赤瓦・球球ガラス、プレキャストコンクリートブロックを使用することとし、バルコニー等の庇を深くして日ざしを除くことや、断熱、海岸附近のため、台風被害を防ぐための検討をした。これらの内容を生かし、実施設計は、構造・意匠上のさらに細かい工夫を重ねた。

赤瓦の勾配屋根は最も強く沖縄を印象づける情景であるが、ここでは、さらに、強烈な日ざしから断熱の効果も期待できる構造をして用いた。住戸についても、軒下空間を深くし、風通しを良くして省エネ対策としても良好な内部環境を造り出している。

**名称：県営古謝団地**

所在地／沖縄市字古謝1180-2  
 工期／昭和61年3月31日～昭和63年3月25日  
 構造／壁式鉄筋コンクリート造(4階建)

延面積／11,743㎡

設計／(株)建築研究所、沖縄県土木建築部住宅課

総工事費／1,176,030千円  
 施工／建築：(株)屋部土建、丸善組JV 他8社  
 電気：(株)共栄電気工事社 他7社  
 機械：(株)大友設備 他8社  
 その他：(株)比嘉組 他3社

備考／監理＝沖縄住宅供給公社



**名称：県営新開第二団地**

所在地／佐敷町新開1-236  
 工期／昭和62年3月31日～昭和63年3月25日  
 構造／壁式鉄筋コンクリート造(5階建)

延面積／7,343㎡

設計／(株)建築研究所、沖縄県土木建築部住宅課

総工事費／981,888千円

施工／建築：(株)宮古交通・(株)善太郎組JV 他7社  
 電気：(株)明電設備 他4社  
 機械：(株)琉建建設工業(株) 他6社  
 その他：(株)大勇組・(株)三倉造園緑化、  
 (株)糸満農園JV

備考／監理＝沖縄県住宅供給公社

**名称：県営北谷団地**

所在地／北谷町字古原177  
 工期／昭和61年10月1日～昭和63年3月30日  
 構造／壁式鉄筋コンクリート造5階建

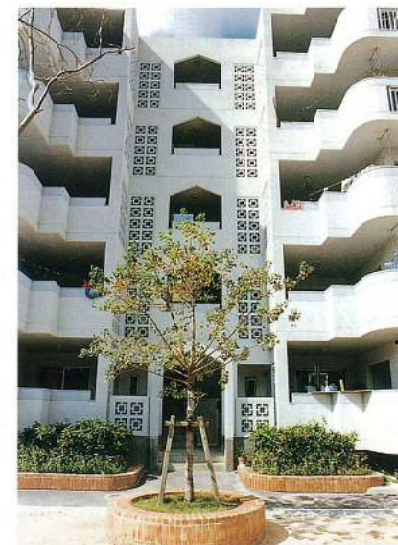
延面積／7,255㎡

設計／(株)建築研究所、沖縄県土木建築部住宅課

総工事費／899,557千円

施工／建築：(株)金秀鉄工(株)、(株)大協建設JV 他5社  
 電気：(株)中江電気建設 他4社  
 機械：(株)清水工業(株) 他4社  
 その他：(株)南美里緑化センター、(株)福地組、(株)沖縄中部緑化(株)

備考／監理＝沖縄県住宅供給公社





## 4. 教育関係(教育庁施設課)



名称：西崎養護学校

所在地：茨城県西崎町1丁目1番の22

工期：昭和62年9月30日～昭和63年3月27日

構造：鉄筋コンクリート造2階建

延面積：5,994㎡

設計：(株)国建・仲本設計JV

総工事費：1,244,986千円

施工：建築：(株)小波津組 他6社

電気：(株)国場組 他3社

機械：(株)崎浜水道設備工事社 他3社

外構：第1期 菊立里土建

第2期 有協亜建設



本校周辺は公有水面埋立地で、街区の整理も施され逐次住宅の建設も行われつつあり、隣接して県立沖縄水産高校の建つ環境良好な所である。

本校は、幼・小・中・高等部をクラスター状に配置し、それぞれの部の領域を確保し管理及び教師の研究スペースを設けると共に、学習空間のオープン化を図るため、教室と連続したワークスペースを設け多目的に使用できる施設とした。



名称：宮古高校体育館

所在地：平良市西里718番地

工期：昭和63年3月22日～昭和63年9月7日

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

延面積：1,500㎡

設計：(有)三和建築設計事務所

総工事費：281,300千円

施工：建築：下崎建設

電気：朝日電気工事社

機械：(株)丸古産業

当体育館の外観は、体育館としての機能及びランドスケープとして方形屋根を用い、且つ塩害対策として塩ビ鋼板を使用した。又アリーナ部分の空気の流れを考慮し、上部に排煙を兼ねた換気塔を設け、暑い空気を逃がすよう工夫した。

アリーナについては、体育の授業中に実技を見学する生徒達の為に柱幅を利用しをこを出窓形式のベンチとし、2階事務室はそこから生徒達を管理できるように教官室も兼ねた。又宮古高校は卓球が盛んな為ホールをはさんで卓球室を設けた。

## 5. 病院関係(病院管理局)

名称：県立渡名喜診療所

所在地：鹿児島郡渡名喜村1916-1

工期：昭和62年8月15日～昭和63年1月21日

構造：鉄筋コンクリート造

延面積：164㎡

設計：(株)桃原一級建築士事務所

総工事費：37,300千円

施工：建築：(株)栄裕建設

電気：(株)共立舎

機械： //

